

おらほの病院

80

～あたたかな医療をめざして～

諏訪中央病院 リレーコラム

美味しく食べるには お口の健康から

皆さまは普段の食事のときにはあまり意識していませんが、物を食べるには口・歯の機能が重要であることは言うまでもありません。毎日美味しく食事をするためには口の中の健康を維持することが大切です。

歯科の2大疾患としてう蝕（虫歯）、歯周病が挙げられます。

虫歯は糖（シヨ糖）を原料に虫歯原因菌が酸を産生し、歯質が溶かされてしまふことよって起こります。初期の段階であれば虫歯の部分を削り、歯科用材料を詰めることで治療は終了しますが、虫歯が進行し

諏訪中央病院

歯科口腔外科部長

いとう りゅういち
伊藤 隆一



てしまうと歯髄（いわゆる歯の神経）を取り除かなければならなかったり、歯冠が崩壊してしまふと抜歯となる場合もあります。

歯周病は歯周病原菌に

より歯を支える歯槽骨などの歯周組織が徐々に破壊されていく病気です。あまり自覚症状が無いまま進行することも多く、気付いたら歯の動揺が大きくなり抜歯が必要となったり、自然に歯が抜けてしまふといったケースもあります。

残念ながら歯を失ってしまった場合には義歯・着脱式の入れ歯、ブリッジ：隣の歯と橋渡しをして冠を被せる、インプラント：顎骨

にチタン製のネジ（インプラント体）を植え込み、その上に土台・冠を装着する、といった治療により噛む機能を回復させます。それぞれの治療にメリット・デメリットがあり、また、喪失した歯の部位や本数、周囲の歯や顎の状態などにより治療の適応が異なってくるので、治療方法につきましては歯科医院で相談していただくのがよいかと思われまふ。

伊藤 隆一（いとう りゅういち）

歯科口腔外科部長。飯田市立病院で初期研修。その後、信州大学医学部歯科口腔外科学教室に入局、当院及び県内の関連病院等に勤務。令和元年10月より現職。

口の中の健康を守るためには歯磨きなどの口腔ケアが欠かせません。口の中には非常に多くの細菌が存在しています。細菌がネバネバとした物質を作り出すことにより細菌同士が互にくっついて塊を形成し歯の表面に付着します。これがデンタルプラークと呼ばれるものです。口腔ケアはこのデンタルプラークを確実に取り除くことが重要となります。

近年では口腔内細菌が糖尿病、誤嚥性肺炎、動脈硬化、心筋梗塞、感染性心内膜炎、脳血管疾患といった全身の病気にも関与していることが注目されています。

液などが誤って気道内に入ってしまうことにより生じる肺炎であり、特に高齢者では誤嚥性肺炎にかかる患者さんが多く、死亡原因の大きな一因となっています。適切な口腔ケアがこれらの病気の予防にもつながると考えられています。

さて、皆さまはかかりつけ歯科医院をお持ちですか？日々の口腔ケアももちろん必要ですが、歯科医院で定期的に歯のチェックを行ったり、正しいケアの方法を教えてもらったり、歯磨きだけでは落とせない歯の汚れや歯石を除去してもらうことをお勧めします。

誤嚥性肺炎は、食物や唾

次回は6月4日掲載予定
（題字は鎌田貴名書院長）